



校長室便り

第5号 岸和田市立岸城中学校
【2020.10.31】校長 高橋 一禎

2学期後半に向けて

コロナ禍の中ですが、2学期になり、少しずつ行事も再開することができるようになりました。修学旅行、体育大会、1年校外学習等も無事終えることができました。体育大会は、今年度、全学年がそろって活動する最初の取り組みでしたが、全力で競技や演技に取り組み、精一杯応援をする等、素晴らしい体育大会を生徒みんなで作ってくれました。今後も、心身の健康管理・学習の保証にしっかりと取り組むとともに、中学生として必要な力をつけていくために、それぞれの行事で学ぶべきこと、行事でしか学べないことを未履修にしないように、様々な対策や工夫をしながらも、行事等の教育活動も行っていきたいと考えています。



さて、2学期も後半に入りました。一度ここで立ち止まり、自分自身を見つめてください。二学期を長く感じている人も多いと思いますが、ここからはあっという間に過ぎていきます。後半のスタートにあたり、何か決意をしてください。そして実行し継続できるようにしてってください。

いよいよ、3年生は中学校生活の総決算となる希望進路の実現に向けて最大限の努力をする時期となりました。しかし、一緒に苦しい不安な時期を過ごすからこそ、これからが思い出に残る、そして友情の深まるそんな時期でもあります。今こそ、いつも仲間をやさしく見守り支えあえるクラスをめざしてほしいと思います。2年生はリーダー学年になるためにステップアップを図る時期、1年生は4月に入学してくる新入生の手本となるよう、時間を大切にして毎日過ごす時期となります。一人一人が、有意義な学校生活を送ってくれることを期待しています。

先日、全学年で人権学習の一つとして、「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」を実施しました。1つ目の感染症は「病気」そのもの、2つ目の感染症は「恐怖や不安」の拡がり、3つ目の感染症は「嫌悪や偏見」から「差別」が起こるという負のつながりを断ち切ろうという内容です。これからのウィズ・コロナの社会の中で、この感染症のことをしっかり学んで、正しく恐れ、正しく対応をしていくことが大切です。新型コロナウイルスの感染状況は、まだまだ安心できる状況ではありません。特に、最近、大阪府内でも少しずつ増加傾向にあります。ほとんどの生徒はマスクを着用していますが、マスクをしてきていない生徒も増えていきます。学校でも指導してマスクを貸しています。続く場合はご家庭へも連絡させていただきます。保護者の皆様も、この局面を乗り切っていくために、より一層の御協力をお願いいたします。

